



276

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

8月24日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

福岡・3児死亡飲酒事故 語り継ぐ母の思い

24日(日)=1、3面

迫る



2006年8月に福岡市東区の「海の中道大橋」で起きた飲酒運転事故により、幼い3児を亡くした母・大上かおりさん＝写真＝の半生に迫ります。

大上さんは事故後、深い喪失感に苦しみ、生き残ってしまったという罪悪感にもさいなまれながら、この19年間で生きてきました。「生かされた意味」を問い続け、たどり着いた答えとは何だったのか。若い世代に向け、事故のことを自ら語り始めた大上さんの決意について伝えます。

論点

ダライ・ラマ制度「継続」 今後の展望

27日(水)=オピニオン面

チベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世が7月、後継者の選定方法について、輪廻転生の考えに基づくダライ・ラマ制度を「継続する」と声明を出しました。チベットの分離独立運動を

警戒する中国が後継者の選定に関与する意向を示す中、声明の意義、今後の展望はどのようなものか。

チベット亡命政府のペンパ・ツェリン首相＝写真＝ら3人に聞きました。



そこが聞きたい



日本将棋連盟会長に6月、女性で初めて清水市代女流七段Ⅱ写真Ⅱが就任しました。藤井聡太名人の活躍などによりブームが続く将棋界は、2024年に連盟創立100周年、女流棋士制度発足50周年

を迎え、今後の発展が期待されています。「継承と挑戦」を掲げた清水新会長は、将棋界の次の100年をどう見据えているのでしょうか。注目が高まる女流棋士の将来像についても聞きました。

将棋連盟 初の女性会長・清水市代さん

24日(日)Ⅱくらしナビ面

特集ワイド

「92歳アイアンマン」の夏バテ克服法

25日(月)=夕刊2面



8月も間もなく終わりを迎えますが、過酷な暑さが続き、夏バテを避けて安全に過ごす知恵がますます求められています。千葉県八千代市の稲田弘さん(92)＝写真＝は定年後、約30年間に渡ってトライアスロン

の競技生活を続けています。日々のトレーニングが欠かせないアスリートは、どうやって夏を乗り切るのでしょうか。年齢を重ね、体力の衰えと戦いながら日々を過ごす「こつ」を聞きました。

竹橋の窓辺から

編集後記



社会人野球の祭典、第96回都市対抗野球大会が8月28日に開幕します。毎日新聞では、各地区予選から本戦までどこよりも詳しくお伝えしています。さらに、ニュースサイトの特集ページでは、東京ドームで行われる本戦の全試合を無料配信！
栄光の黒獅子旗を手にするのはどこか。都市のプライドをかけた熱い戦いをお見逃しなく！
特集ページはQRコードよりご覧いただけます。(都築葵)



MAINICHI
毎日新聞